

オーストラリア ウェスタン・シドニー大学

[2023 年 9 月～2023 年 12 月分]

現代政策学部4年 村上天地

はじめまして。現在、オーストラリアの Western Sydney University に留学している現代政策学部4年の村上天地です。このレポートでは私のシドニーでの生活について皆さんと共有したいと思います。これを見ている方は少なくとも留学に興味のある方かと思います。私なりに皆さんの視点になり、留学に行く上で気になりそうなことを分野ごとに紹介していこうと思います。

はじめに、シドニーはオーストラリアの南東に位置しており、日本からは9時間ほどのフライトで時差は1、2時間です。

南半球に属するので、季節は日本と真逆になります。オーストラリアの中でも最大級の都市で、経済的な発展が特に優れていると言われています。私は都心部から電車で30分ほどのキャンパスで勉強しています。



1 つ目は現地での生活です。シドニーは電車やバスなどの公共交通機関がそれなりに発達しているので通学や日々の移動に困ることはほとんどありません。ただ、急なダイヤが変更になったり、週末に工事をしていて電車が動いていなかったり、バスが時間より先に出発してしまうなどの小さいトラブルは少なくないです。人々はとても親切で、さらに人種も多種多様です。街を歩いていて様々な国から来た人を見るのは日本では体験できないことだと思います。



2 つ目は学校での生活についてです。私は語学留学として来ているので、学校では英語を勉強しています。1～5までレベルがあり、私は3から始まり今は4で勉強しています。最初のレベル分けは TOEIC の点数で決まるようなので、より高いレベルで学びたい人は事前になるべく高得

点を取っておくと良いでしょう。授業はもちろん英語で行われ、英語の文法やライティ

ングの書き方など、現地の大学に入ってから役立つであろうことを学びます。日本の他大学の学生含め、世界 20 カ国前後から来た生徒たちがおり、1 クラスは大体 15 人前後であることが多いです。9 時から 14 時までが授業で、1 コマは 2 時間です。注意すべき点としては、大学で専門分野を学ぶのではなく、小さめのキャンパスで英語のみを学ぶという点です。クラスメイトも英語を第二言語として学んでいる人たちです。もし専門分野を英語で学びたい、現地の人とたくさん話したいと思っていたら少しイメージと離れているかと思います。

3 つ目はホストファミリーについてです。今の私費留学の制度では、寮生活や1人暮らしは許されておらず、ホストファミリーを持つことが義務となっています。正直な話、これは運が大きいです。他のホストファミリーについてあまり詳しくないので、私のことについてのみ話します。私のホストファミリーはイタリア系のバックグラウンドを持つ家庭で、母と息子2人の3人家族です。



プール付きの豪邸に住んでおり、約 3 ヶ月経った現在も何1つ不自由なく暮らせています。息子2人も年齢が近く、彼らの友達の集まりに連れて行ってもらえたり、恩恵をかなり受けています。食事はやはりイタリア料理が多く、パスタなどがメインです。いまだに慣れないのが、日本では一汁三菜という言葉があるように、1 度の食事に複数の品数があることが多いかと思いますが、私のホストファミリーでは多くても 2 種類くらいの品数までで、日本の食事のありがたみを感じます。

4つ目は費用に関してです。渡航前にかかった費用は全て含めて約 200 万円くらいでした。これは円の価値や物価にも影響されます。しかしこれにはホストファミリー費が含まれており、ホストファミリーのシステムには 1 日 2 食が含まれています。現地で節約しようと思えばかなり節約できるので、渡航前の費用をどうにかできれば高いイメージのある私費留学でもチャンスはあるかもしれません。オーストラリアの物価は高いとよく言われていますが実際に高いです。しかしこれにはカラクリがあって、現地の時給は大体 3000 円ほどです。これは日本の約 3 倍に相当すると思いますが、物価自体は 3 倍には及びません。要するに、日本の方が相対的に見ると物価高が進んでいるということです。外から見ると日本の良さに気づくと同時に、問題点にも気づくことができるのが留学の魅力の1つですね。



最後に私が渡航前に感じていた些細な不安と、渡航後の実際の事実を分かりやすく下に並べておきます。総じて、留学に来て本当に良かったと感じています。確かに安いものではないですが、少しでも興味がある、海外で勉強してみたい、英語を話せるようになりたいなどどんな目的でもいいので、1 度家族や国際教育センターの方に相談してみるのをおすすめします。たった数ヶ月の経験でも、人生を左右するような決断をすることになるかもしれませんよ！ここまでご覧いただきありがとうございます。

シャワーは毎日浴びられるのか。

→浴びられました。浴槽に浸かる文化はないです。2、3 日に 1 度しか浴びられない、5 分くらいしか浴びられないといったイメージがありました。私の家庭では全くそんなことはありませんでした。

水が 1 本 500 円するのか。

→これは半分本当です。駅のホームなどにある自動販売機やコンビニでは確かにそのくらいの値段の時があります。しかしスーパーマーケットではもっと安く 100 円を下回る時もありますし、ブランドにもよります。そのあたりは日本と大きく変わらないかと思えます。

治安は大丈夫なのか。スリとかは？

→これは簡単に大丈夫とは言えませんが、私の知り合い含め危ない目に遭っている人はまだ聞いたことがありません。街を歩いているとホームレスの人を見ることは圧倒的に日本より多いです。明らかに薬物中毒者がその辺をうろろしているというような状況にはまだ出会っていません。スリですが、私は財布をポケットに入れない、カバンは閉められるものにするという最低限の意識をしているのでまだ盗られたことはありません。総じて、最低限気をつけたら日本と同じような生活ができるかと思います。

差別はあるのか。

→まだ体験していません。本当に多種多様な人種が混在しているので、外国人がいるのが当たり前です。いい意味で多くの人が他人のことをあまり気にしていないイメージです。

授業にはついていけるのか。

→今の所問題ありません。学校では毎週のように試験がありますが、授業を聞いていけば大きく問題のない内容です。ただ事前にある程度は英語の勉強をして行くことを強くおすすめします。現地に行けば黙っていても英語力が伸びるということはありません。基礎となる知識をつけていけば現地でも勉強がしやすくなります。

